

2016 年度私立大学図書館協会西地区部会

東海地区協議会総会 議事要録

日時：2016 年 5 月 26 日（木） 10 時～11 時 10 分

場所：名古屋学院大学 名古屋キャンパス 白鳥学舎 翼館 304 教室

出席：20 館 25 名 （委任状提出館 29 館）

※私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会則第 8 条 2 項により、本総会成立。

議事に先立ち、理事校名古屋学院大学学術情報センター長（三井）より、開会の挨拶があった。

【議長選出】

理事校名古屋学院大学学術情報センター長（三井）が議長に選出され、下記の議事を協議した。

【議事】

[報告事項]

1. 2015 年度東海地区協議会事業報告

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 4-6)に基づき、昨年度は総会および 3 回の常任幹事会が行われたとの報告があり、常任幹事会での報告事項、協議事項について説明があった。

2. 2015 年度東海地区協議会研究会事業報告

研究会委員長校愛知大学(中村)より、総会資料(p. 7-12)に基づき、運営委員会と各担当者会議の活動について、また、2 回の研究会、図書館見学会、アンケートおよび「館灯」の発行について報告があった。

3. 2015 年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議報告

幹事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 13)に基づき、運営委員会および会議について報告があった。

4. 2015 年度協会会務報告

(1) 協会関係事項報告

1) 加盟校等及び協会役員校、委員会及び協会関連団体委員

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 14-17)に基づき報告があった。

2) 2015 年度委員会報告

① 協会賞審査委員会

委員校愛知学院大学(足立)より、総会資料(p. 18)に基づき報告があった。2015 年度は 3 件の推薦のうち 1 件が採択された。

② 研究助成委員会

委員長校名城大学(皆見)より、総会資料(p. 18-19)に基づき報告があった。2015 年度は 3 件申請があり 1 件が採択された。採択の経緯について説明があった。

③ 国際図書館協力委員会

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 19-22)に基づき報告があった。実施事業として寄

贈資料搬送事業、海外派遣研修、海外認定研修について説明があった。海外集合研修は研修のあり方を検討中であったが今後は取りやめ、海外認定研修を拡大すること、また、国際図書館協力シンポジウムは、私立大学図書館協会総会・研究大会で講演会を開催することに代えることになったとのことである。

④ 協会ホームページ委員会

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 22)に基づき報告があり、IT アドバイザー導入、名簿管理システムの検討等について説明があった。

3) 私立大学図書館協会 2016 年度西地区部会総会及び研究会

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 23-24)に基づき報告があった。

4) 第 77 回(2016 年度)私立大学図書館協会総会・研究大会

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 25)に基づき報告があった。2016 年度は国際図書館協力委員会の国際シンポジウムを研究大会のプログラムに組み込んで開催する。

(2) 協会関連事項報告

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 26)に基づき報告があった。

5. その他

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 27)に掲載のとおり、『館灯』投稿、編集及び公開に係る申し合わせ事項』について常任幹事会で一部改正したとの報告があった。

[審議事項]

1. 2015 年度東海地区協議会決算(案)および監査報告

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 28-30)に基づき、協議会決算(案)について説明があった。

次に研究会委員長校愛知大学(中村)より、総会資料(p. 31)に基づき、研究会決算(案)について説明があった。

引き続き幹事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 31)に基づき、図書館管理・運営実務責任者会議決算(案)について説明があった。

続けて、監事校中部大学(蓑島)より、総会資料(p. 32)に基づき、決算(案)について 4 月 15 日に会計監査が行なわれ、適正であると認められたとの報告があった。

以上、決算(案)は承認された。

2. 2016 年度東海地区協議会役員校および委員校(案)

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 33)に基づき 2016 年度役員校および委員校について説明があり、承認された。副幹事校担当予定大学が事情により担当できないため、愛知大学が研究会運営委員会委員長校と副幹事校を兼務するとの説明があった。

3. 2016 年度東海地区協議会事業計画(案)

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 34)に基づき計画(案)のとおり実施したいとの説明があり、承認された。併せて協会ならびに関連団体の主な行事予定が紹介された。

4. 2016 年度東海地区協議会予算(案)

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 35-37)に基づき説明があり、承認された。

主な点は次のとおりである。

〈収入の部〉

- ・加盟会費、地区研究会交付金については、加盟館数減を反映している。
- ・地区協議会交付金については、昨年度のみ10万円増額されたものである。

〈支出の部〉

- ・総会費については、今年度も総会後の講演会がないため減額となっている。
- ・研究会支援費は、今年度は実務担当者研修会開催の年であるので、昨年度臨時に増額した金額を踏襲している。
- ・「館灯」刊行費は、今年度はJ-STAGE移行関連費を含んでいるため増額している。

5. 2016年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算(案)

研究会運営委員会委員長校愛知大学(中村)より、総会資料(p. 38-40)に基づき、事業計画(案)と予算(案)について説明があり、承認された。

6. 2016年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算(案)

幹事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 41)に基づき、事業計画(案)と予算(案)について説明があり、承認された。

7. 2016年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・役員校・当番校等(案)

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 42-44)に基づき、2016年度以降の東海地区協議会役員校等について説明があり、承認された。

なお、(3)2016年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会役員校・当番校等に関して、2017・2018年度の私大協東海地区協議会研究会幹事校については、名古屋造形大学と同朋大学が組織としては同一部署のため「同朋大学・名古屋造形大学」として担当し、今後のローテーションは1大学として名古屋造形大学の位置に置くこととする、「館灯」の編集は主幹事校が担当してきたが、今後は副幹事校が担当することにする、また、東海地区大学図書館協議会運営委員校を今まで静岡県の私立大学は担当していなかったが2022年度以降は担当することとなり、順番は静岡県私大が決めるが、総会会場校は当面、私立大学(愛知・岐阜・三重)で担当するとの説明があった。

以上